



佐賀市立金立小学校 学校便り 第14号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和5年7月4日発行 文責 校長 副島 和久

いよいよ7月になりました… 1学期もあと二週間です！



学校 HP もご覧ください

いよいよ7月になりました。昨日7月3日(月)は保護者引き渡しによる13時20分下校ということで、お仕事などお忙しい中にご対応ありがとうございました。午前10時に佐賀市北部に【警戒レベル4】避難指示が発令されたことに伴い、佐賀市教育委員会からの指示で、給食後に保護者引き渡しにより児童を帰すこととなりました。この日については、避難指示が出されている校区の小学校については、放課後児童クラブも閉所するとのことでしたので、子どもさんを預けられているご家庭では一層大変であったことと思います。6月30日(金)に続いてのお迎え対応ということで、大変ご迷惑をおかけいたしました。子どもたちの安全を第一に考えての対応ということでご理解いただければと思います。

さて、梅雨明けまでにはもう少し時間がかかりそうですが、いよいよ7月となり、1学期も残りわずかとなりました。この機会に、4月からのことを振り返って、残り2週間足らずの1学期を最後まで頑張ってほしいと思います。

6.11 佐賀市一斉フリー参観デーの感想から



学校便り第13号では、東部教育事務所訪問における金立小学校についての評価についてお知らせいたしましたので、今回は、6月11日(日)に行いました佐賀市一斉フリー参観デーにおいて、金立小学校をご参観いただいた方の感想の中から主だったものを紹介いたします。この日は389名の方に参観いただきました。

【全体的な感想】 ○肯定的な意見・感想 ●ご指摘など
○どの学年も落ち着いていて、楽しそうに授業に取り組んでいた。

○参観されている保護者の方が多く、いい雰囲気だと感じました。学校と保護者、PTA本部や各役員さんとの連携がしっかりしていると感じました。

○子どもたちみんな笑顔で元気にあいさつしてくれてよい印象を受けました。

○マスクから解放されて、ニコニコな表情が見られ、学校生活を楽しんでいるように感じました。

【授業について】

○先生は子どもたちが考える時間を多くとってあった。

●子どもたちの答えが出ない前に、(先生が)結論を出されることがいくらか見られた。

○集中力が切れそうなときに、ちょっと話題を変えて気分転換するなどの工夫がされていた。

○家庭科の調理実習は、とても上手に作業ができ、おいしくできたようです。普通教科の授業風景とは違って、子どもたちの協力し合う姿が印象的でした。

●あまり、興味をもたせるような授業ではなかったように思われました。



【児童について】

- クラスの雰囲気はよさそうでした。
- 子どもたちが休み時間によくあいさつしてくれました。
- 言うことを聞かない子への対応が大変だと思いました。
- 熱中している子どももいたし、そうでない子どもも2～3名はいる。

【学校環境について】

- 教室のランドセルや展示物がきれいに整っている。
- 教室掲示に工夫が見られました。また、普段は使用していない教室もよく整えられていました。
- 教室は蒸し暑く感じました。「暑くて集中できなかった」などの子どもの意見があり、気になっています。



他にもいろいろなご意見をいただいておりますが、学校で取り組んでいることへの肯定的なご意見、ご感想が多くあり、大変ありがたく思っています。今後とも、お気付きなどございましたら、いつでもお気軽にお知らせください。

6.29 全校朝会のお話 学校は何するところ？

6月29日(木)の全校朝会では、「学校は何するところ？」というお話をしました。このお話は、昨年度も5月にお話しました。覚えてくれていた子どもたちもいて、感動しました。

子どもたちに、「将来、なりたい夢や仕事」はありますかと尋ねると、多くの子どもたちが「あります！」と手を挙げてくれました。学校ではいろいろなことに挑戦して、まずは「なりたい自分」を大きくしてほしいと思います。次に「なりたい自分」になるためにしっかり努力をして、「なれる自分」もぜひ大きくしてほしいということを話しました。「未来の自分」は多分、「なりたい自分」と「なれる自分」が重なったところにあると思います。つまり、「学校はなりたい自分と
なれる自分を大きくするところ」というのが、この日の話の結論でした。そして、そのために、みんなに頑張してほしいことを2つだけお願いしました。

- (1) 何でも一生懸命やることが大切です。
(つまり、あきらめないこと)
- (2) 何のためにやっているのかということを
考えながらやることが大切です。
(難しい言葉で、「目的意識」といいます。)

そして、学習に取り組むときの心構えとして、
「**わかるまで、できるまで、おぼえるまで**」ということをお願いしました。

ぜひ、ご家庭でも子どもさんといっしょに夢を語ってほしいと思います。子どもの夢を尋ねるだけでなく、お家の方の夢(だったこと)をお話していただくのもとてもよいことだと思います。

